

令和6年度伊勢志摩国立公園地 第1回域協議会 議事概要

日時：令和6年8月19日（月）10:00～12:00

場所：三重県営サンアリーナ レセプション室

結果

- ビジョン検討の方法、及び実施スケジュール等について了解が得られた。
- ビジョン検討にかかるアンケート調査、及びワークショップメンバーの決定プロセス案についても了解が得られた。
- 地域住民へのビジョン検討に関する周知について検討する。
- 三重県から伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会の活動状況について報告した。

主な意見

- ビジョン策定のためのプロセス等で色々な配慮をされている、よく出来た計画ではないかと思う。どれだけ多くの方がビジョン策定のプロセスに、実際に参加していただくかが極めて大事になると思う。これは事業推進の手順にとどまらず、実際に多くの方々にビジョン策定についての作業を知ってもらう事がとても大事である。地域の方々がメディアや行政の媒体を通じて、地域協議会が今、国立公園についてのアンケートを実施していることを知っている状態にしていただいた方がよいのではと思う。
- ビジョン検討のためのワークショップに推薦されるメンバーについて、若者というくくりは、どのくらいの年代を想定しているのか。

質問に対し、事務局からの追加説明・補足した点

- 国立公園全体として、受け入れ側も含めてより良いビジョンを描けたらと考えているため、地域の皆様にビジョン策定について知っていただけるよう努力したい。
- ワークショップメンバーについては、年齢制限を設けない。できるだけ若者の視点が欲しいとは考えているが、気持ちが若く、将来に向けて頑張っている方もいるので、推薦者の判断に委ねたい。若者は10年後、20年後に責任ある立場になる可能性があり、この地域とどういう関わり方をしたいか、どう変えるかについて、自ら考え行動できる人をワークショップのメンバーとして想定している。